

silver

シルバー人材センターの情報誌

とみさと

第27号 発行日：平成31年3月15日



「今から？」を
「今こそ!!」へ
「今だから」シルバー人材センター

今回の表紙の写真は、女性会員が活躍している清掃作業です。（担当：遠藤登志枝）

編集発行：公益社団法人富里市シルバー人材センター編集委員会

富里市シルバー人材センター事務局職員に聞く

シルバー人材センター事務局で、主に援農・除草作業の就業調整を担当していた亀山務さんが、平成31年3月末で退職することに伴い、1月から田中二見さんが新たに事務局の職員になりました。そこで今回は、その2名の方にお話をお聞きしました。

(聞き手：川俣好子委員/取材日：平成31年2月15日)

橋渡しを丁寧に (田中二見)



新たな職員の田中二見

川俣委員 (以下「川俣」) まずは田中さんから。最初に自己紹介をお願いします。

田中二見 (以下「田中」) みなさん初めまして。以前は、東京のスポーツ関係のメーカーに勤めてましたが、今年

の1月からセンターで、皆さんのお手伝いをさせていただくことになりました。

川俣 事務局に入られたきっかけは何ですか。

田中 以前の仕事もやりがいがあったので、辞めた後も、自分が何かの役に立てるような仕事があったら、と考えていた時に、妻

今後の人生に活かします (亀山務)

川俣 では次に亀山さんです。退職までまだ1か月半ありますが、5年間を振り返っていただいてよろしいですか。

亀山 とても難しい仕事でしたが、色々な方々に助けをもらいながら、発注者の方と会員の方の間を円滑にすることを心掛けていたら、あっという間に5年間経ってました。

川俣 事務局の職員として、就業調整の仕事をしてきて、よかったと思うことはどんなことですか。

亀山 たくさんの発注者の方々や、色々な経験を持つ会員の方々ややり取りをさせてい

が市の広報に掲載されていたセンターの臨時職員募集の記事を見つけて、勧めてくれたんです。職場も市内だし、これなら社会貢献ができるかもと考えて応募しました。

川俣 事務局に入られてちょうど1か月经ちましたが、仕事のほうはいかがですか。

田中 まだまだ戸惑いがありますが、先輩職員に教えてもらいながら、何とか1か月過ぎたって印象です。でも、会員の方にも助けをいただいているので、何とかやっていけるかなというように思っています。

川俣 では今後の抱負を教えてください。

田中 まず発注者の方からお仕事をいただけることに、感謝を忘れないようにしたいです。そして発注者の方と会員の方の間の橋渡しを丁寧に行って、いい形で自分が存在できるようになりたいと思っています。

ただ今中、今まで自分が知らなかった、新しい世界を知ることができましたので、今後の人生にも活かしていくつもりです。

川俣 最後に一言お願いします。

亀山 今までありがとうございました。今後のますますのご活躍を祈念しております。



退職の亀山務

見えていますか？その二輪車。

「右直事故」とは、交差点などで右折中の車両と、対向車線を直進してくる車両との事故の事です。特に対向車が二輪車の場合に多い事故の一つです。ではなぜ多いのでしょうか？

「二輪車は遠い」という錯覚

「まだ遠くにいるな」と思っていた対向車線の二輪車が、あっという間に近づいてきて驚いた経験はありませんか。



それは目の錯覚が原因です。車体が大きいトラックやバスは「近くにいる」「スピードが速い」と感じられ、車体の小さい二輪車は「遠くにいる」「まだ来ないだろう」と感じられ、スピードを過少評価されてしまう傾向があるのです。

遠くに見えていても安心してはいけません。二輪車との距離をしっかりと確認しましょう。特に後続車がいる時は「早く進みたい」という気持ちがあるので注意が必要です。

「対向車が来ない」という油断

特に、「サンキュー事故」と呼ばれる、対向車が道を譲ってくれた時などに油断が生じて起きる事故です。



これは交差点内で対向車が、右折する車を先に行かせようとしてパッシングによる合図などで、道を譲ってくれたとします。それに対して、右折する車は手をあげ「ありがとう。」の意思を示したりして右折を開始します。

微笑ましい譲りあい精神ですが、譲ってくれた車の左脇から、突如二輪車が疾走してくることがあります。

「対向車が来ない」と思い込み、右折したときには二輪車と衝突してしまいます。

キーワードは「焦らない」

「後続車のために」とか「譲ってくれたから」という理由で右折を急いでしまう人もいますが、そういう時ほどよく安全確認し、慎重に進みましょう。時には「とにかく対向車が通りすぎるのをひたすら(と言っても、ほんの短い時間ですが)待つ」ぐらいの気持ちを持つことも重要です。

右直事故を防ぐキーワードは「焦らない」です。右折するときは、人のペースに惑わされず、自分自身の「ゆとり」のある安全運転を行い、二輪車との衝突を避けてください。(安全・適正就業委員会)



ふるさと便り (福岡県大牟田市)

こんにちは、工場内の清掃作業に参加している会員の加野泰義です。

僕は、高校を卒業するまで、福岡県の大牟田市というところに住んでいました。福岡県の南部で、熊本県と接している有明湾に面した町です。

ただ、小さい頃は、熊本県に疎開していました。家は、父が建てた屋根はワラ、床は板

世界遺産の三池炭鉱宮原坑



にゴザ敷に囲炉裏があって、よくサツマイモを食べてましたね。

遊びといえば大牟田に戻ってきても、ビー玉やパチ(メンコ)遊び。それ以外は、おもちゃは全部手作り。いつでもおもちゃが作れるように、いつも小刀を持ち歩いていて、何かあるとすぐにそれを使ってその場で作って遊んでました。

大牟田といえば、「月が出た出た〜♪」の炭坑節で名前が知られた三井三池炭鉱があった町。当時はいたるところに三池炭鉱にかかわる施設があって、石炭の町として栄えてましたよ。その炭坑も時代の変化の中で閉山したけど、今は世界文化遺産として三池炭鉱や専用鉄道敷跡が登録されていて、今でも大牟田は石炭の町ですね。(担当:佐伯英夫)

職場便り

今回は、市から依頼の水質確認作業に参加しているベテラン会員の大宮達也さんにお話をお聞きしました。

大宮さんは60歳での入会でした。「60歳定年の時代だったけど、自分ではまだ仕事ができると思っていたし、家でぶらぶらしたくなかったの。」ということで、入会したそうです。

入会后、水質確認作業の相談が事務局から来ましたが「正直その時は、あまり深く考えず、出来そうなことだからやってみよう。」と気軽に考えて決めたそうです。

ただ、その時は長期間参加し続けるとは思いもしなかったそうです。「水質確認作業は1日1回公園等4か所を回って、末端の水道から出る水の水質を確認する作業です。やっ

てみると、自分の自由な時間を使って、自分のペースで作業ができるので、そういう点で気が楽なので、長く続けてます。」とのこと。

最後に「市民の方の生活を守っているというやりがいを感じていますし、作業中に「お疲れ様」って声をかけてくれる方もいるので、やっててよかったと思っています。」という言葉が印象的でした。(担当:井上征義)



作業中の大宮さん

編集後記 今回のシルバーとみさとでは、ふるさと便りのコーナーを担当しました。会員の方のお話を聞いて「ふるさと」への思いにあらためて強く感動しました。私も生まれ育った「ふるさと」を離れて50年以上経ちますが、「故郷」への思い出が遠い昔のことではないような気がしました。(担当:佐伯英夫)

セカンドライフに 仕事がある喜びを!!



私たちと一緒に
働いてみませんか

会員募集中!!

(代表)
0476-90-1375
<http://www.sjc.ne.jp/tomisato/> (HPQRコード)



営業時間

8:30~17:15 (土・日・祝日はお休みです)

〒286-0221 富里市七栄 653-2
富里市福祉センター1F



公益社団法人

富里市シルバー人材センター

▶シルバー人材センターとは

- シルバー人材センターは、60歳以上の働く意欲を持つ富里市民によって設立された公益法人です。
- センターに依頼があったお仕事を、仕事内容のご希望、経験の有無や現在の体力等の会員個々の条件に合わせて働くことができるよう、センターがサポートします。

▶富里市シルバー人材センターの会員になるには

- センターの目的や事業内容に賛同する、以下の条件を満たす市民の方ならどなたでも入会できます。
 - ①原則として60歳以上の方
 - ②健康な者であって、就業を通じて、自らの生きがいの充実や社会参加等を希望する方
- センターに入会するには、以下のものがが必要です。
 - ①入会申込書兼会員票・就業承諾書・縦3cm横2.5cmの顔写真2枚
配分金受取ための本人名義のゆうちょ銀行の口座番号が確認できるもの
 - ②会の運営費3,600円（一事業年度ごと。）



年間就業延人員約 26,000 人の
実績。就業率は毎年県内トップクラス!!

公益社団法人富里市シルバー人材センター

TEL:0476-90-1375 富里市七栄653番地2 (富里市福祉センター内)